事例No.	882
公表年度	R1
団体の属性	一般市
団体名	千葉県東金市

事例区分	一般行政

タグ	・公共施設活用 ・教育・子育て ・地域運営組織

事例種類	木材利用・普及啓発

事例内容・タイトル

サンブスギを用いたテーブルとベンチの展示による木材利用に係る普及啓発

出典

森林環境譲与税の取組事例集（令和２年１月）

千葉県 東金市（サンブスギを用いたテーブルとベンチの展示による木材利用に係る普及啓発における森林環境教育）

わがまちの税活用方針

・本市は、平成30年11月22日に「公共建築物等における木材利用促進方針」を策定した。
この方針に基づき、公共建築物の建設や備品の購入に県産木材等を積極的に利用し、木材の需要拡大及び市民への普及啓発を図るとともに、適切な森林整備による森林の機能保全と地域の林業、木材産業の活性化に努めていくこととしている。
・また、本市には、千葉県森林組合北総事業所や千葉県木材市場協同組合等の地域の林業・木材産業を担う関連団体があり、これらの団体と連携して取組を進めていくこととしている。

主な取組・概要

・本市の税活用方針に則し、事業化するもの。

【事業費】476千円（うち譲与税476千円）
【実施時期】令和元年７月～９月
【実施内容】
道の駅「みのりの郷東金」にサンブスギを利用した木製テーブル・ベンチの展示を行い、市民等に対し木材利用の啓発を図る。

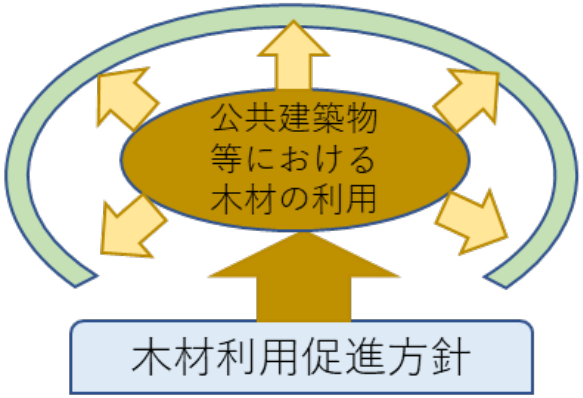
（１）木製テーブル　　１台
（長さ1,800×幅800×高さ700）
（２）木製ベンチ　　２台
（長さ1,600×幅400×高さ400）



事業スキーム

・使用木材は、千葉県木材市場協同組合を通じて調達し、ベンチ等への加工を実施。

【木材利用の普及啓発・需要拡大】



工夫・留意している点、特徴等

・スギの丸太を大胆に使い、ログハウスを思わせる、重厚感のあるベンチセットとした。
・特別な防腐加工を用い、木目や香りなどの木の良さを生かした。